

journalism
Independent Intelligent
Interactive Inter-local

週刊京都経済

<http://www.kyoto-keizai.co.jp/>

日刊京都経済改題
The Kyoto Economic Journal
発行所: ◎京都経済新聞社
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1
京都リサーチパーク
TEL:075-316-1000



和風建築のフレスコ
堀川店がオープン。チラシを配らない戦略
でスーパー戦線をリードする。(4面)



中小企業の展示会「異業種京都まつり」が開
かれた。(4面)



トーセが海外のゲーム
ソフトメーカーからの
ソフト開発の受託を拡
大。米国での営業体制
の構築を始めた。(2面)



週刊京都経済は今年
5周年を迎えます。

今週の
顔 Face



「料理メニュー」と
「惣菜メニュー」は違います



「自分の役割
は夢を具現化
すること」

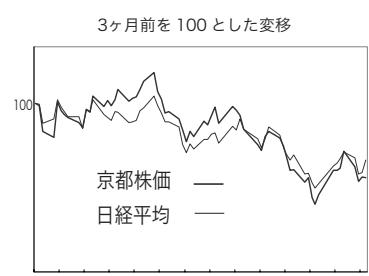


「自らの執着
をときはなすこと」



「チラシはも
ういらない」

京都株価指数



(先週の株価)

日経平均は反落。海外経済の不透明感、国内経済政策の見極めたいとするムードが強い。京都銘柄は約6割が下げた。中でもトーセ、セラーテム、任天堂、フェイスの下げ幅大きい。一方、FVC、日電産が好調。

京都株価指数は京都経済新聞社とブルームバーグが共同で算出しています。

歯科技工用の機器製造を手がけるデンケン（京都市山科区、上田英社長）はこのほど、これまで熟練した歯科技工士の技術に頼っていた金属歯や入れ歯金属床の铸造を全自動化することに成功した。金属歯を作る際に金属を溶かすヒーターを独自に開発。作業ロボットなどと組み合わせ焼成から铸造、搬送までを自動的に行う装置システムを商品化した。金属歯の製作にかかる時間コストが大幅に削減できる。同社では今後、国内外の歯科技工者に販売していく方針だ。

“熟練のわざ”を 全自動化 歯科技工機器トップのデンケン 精密温度管理で達成

デンケンが開発した全自動歯科铸造システムは「ロボキャスコム」。金属を溶かすための機器を設置すると、夜間でも無人で金属歯を铸造することができる。通常、金属歯は症例に応じてさまざまな種類の合金などを溶かす必要があるが、ほぼすべての金属に対応しているという。さらに、金属の気化を防ぐ方法を開発。铸造時に金属片が飛び散ることもないことから金属ロスを削減できるようになった。

従来、金属歯や入れ歯用の金属床を铸造する場合、熟練した歯科技工士の技術に頼らざるを得なかつた。金属によって融点が違うことから、バーナーによる加熱を微妙に調整する必要があるからだ。

しかし、職人技となっているため、1つ1つの金属歯を作る際に人的なコストのほか時間的なコストも大きいといふ。このため、デンケンでは、1995年からこの歯科技工を全自動化するプロジェクトを発足させていた。

金属歯を作る際に加熱と溶融が最大



の課題となっていたため、同社ではまず正確な温度調整が可能なヒーターを開発することにした。当初開発したセ

ラミックヒーターは摂氏1400度までの温度調整が可能だったが、使う合金によっては対応ができなかった。

ラミックヒーターは摂氏1400度までの温度調整が可能だったが、使う合金によっては対応ができなかった。



上田英・デンケン社長

このため、このセラミックヒーターに改良を重ね、摂氏1500度までの微妙な温度調整を可能にした。これにより、歯科技工に用いられる合金すべての铸造が可能になったという。

その後、開発したセラミックヒーターのコア技術に搬送機器やロボットと組み合わせ、全自動化システムを完成させた。

デンケンではこれまでに歯科技工機器の見本市に出品。「来場者の反応がよかつた」（上田社長）ことから2003年春に本格的な販売活動に乗り出す方針。初年度の販売目標台数は、100台。詳細の価格は未定だが、1200万円程度を予定している。システム全体を1ヶ月あたり18万円から19万円程度で貸し出すリース事業も検討している。

すでに数十社から問い合わせがあり、大阪の歯科技工のラボ2社に納入が決まっている。また、2003年秋には国際的な歯科技工の見本市にも出展し、ドイツやアメリカなどでも販売体制を築いていく。

デンケンの上田社長は「勘と経験だけに頼っていた仕事をこのシステムが代行してくれる。歯科技工のゆとりを生む商品だ。歯科技工ラボの経営に役立て欲しい」と話している。

「世代間闘争」は回避できるか

たち。(中略)3割近い実質失業率に苦しむ若い世代の悩みは遠い世界の出来事なのではないか——と書いた。

この国には、果実を刈り取るのはこれからと考えるリッチな高齢者層と、社会との関わりにアリティを持てないでいる貧乏な若者層という2種類の国民が住んでいる。高齢者層が現行の仕組みを守ろうとすればするほど、そのコストは若者層に付け回しされる。富者はますます富み、貧者はますます貧困という構造だ。

筆者はこの状況を「世代間闘争」と呼ぶ。所得移転をめぐる世代同士の闘いがすでに始まっているのだ。

メールをくれた方は、「『三方100兆損』の実現を主張しています」と書く。「政治家、官僚、大企業のトップの65歳を過ぎた方は即時引退する。65歳以上の国民は私有財産の30%を国家に献納即ち寄付する。そして現在の危機を立てなおし次世代に渡し新生日本を運営しもらおう」というものだ。

突飛な意見に見えるが、竹中平蔵チームのオピニオンリーダーである木村剛・KFi代表(40)の主張も実はほぼ同じ線だ。難しい文言に置き換えてはいるが、案の定、木村氏の父親の世代に当たる銀行トップらは必死の抵抗を見せる。

メールの主は続ける。「老人の財産は各自の子孫に引き継がれて行くだろうが、そのとき、日本の価値が下がっていたのではなんの役にも立ちますまい。金と時間を有り余るほどもっている世代と、金、時間、職もなく将来の不安に苦しんでいる世代のバランスをとることこそ政治ではないでしょうか」。

まさにその通りだ。敵対する国の首領を謝らせたといって、鬼の首を取ったようなつもりになっている場合ではない。今国民に向かって率直に頭を下げ、協力を求めるべきなのは、日本の政治リーダーたちだ。

(編集長・築地達郎)

Kyoto Econo Last Week

19日(土)

●東大大学院にたんぱく質解析の寄付講座 島津製作所

島津製作所と小野薬品は、細胞内のタンパク、脂質、糖質などを系統的に解析するメタボロームの寄付講座を、来年2月に東京大学大学院医学系研究科に設置すると決定。2社が年間6000万円、5年間で3億円を折半出資する。

20日(日)

●学生ベンチャーが電子出版業を開始 電版

龍谷大学経営学部4年の土井大信さんが社長を務める有限会社「電版」(京都市下京区)で、電子本の実験サービスを開始。表紙のデザイン、ページの色、字体、レイアウトを選ぶもの。すでに、日記やエッセイなどの試作本が公開されている。ホームページは <http://www.denpan.org/>

●液晶対応のガラス基板洗浄装置を発売 大日本スクリーン製造

大日本スクリーン製造は、低温ポリシリコンTFT(薄膜トランジスタ)や有機EL(エレクトロ・ルミネセンス)の液晶製造に対応したガラス基板用洗浄装置を、30日に発売。価格は8000万円から。年間各20台の販売を目指す。

●工業所有権の収益で特別利益を計上 日本新薬

日本新薬は、02年9月中旬期の連結業績予想について、期初予想の経常利益20億円を25億円に、売上高251億円を255億円に上方修正した。抗がん剤や胃潰瘍治療剤をめぐる契約締結で工業所有権の収益があったほか、不動産売却費約4億円を特別利益に計上するため。

●業績予想上方修正 堀場製作所

堀場製作所は、02年9月中旬期の連結業績予想について、経常損益を期初に予想した3億5000万円の赤字から8億円の黒字に、中間損失は7億円の赤字を3億円の赤字に上方修正した。直接販売制の導入などが奏功し、原価率低減、経費削減の効果が表れたため。

22日(火)

●新株発行で37億円の資金調達 セラーテムテクノロジー

セラーテムテクノロジーは、取締役会で5200株の新株発行と売り出しを決定。新株発行による資金調達は37億5100万円の見込みで、研究開発、13億円を製品開発、取り引き会社の株式取得などにあてる。

●車載用サーバーを共同開発 オムロン

オムロンは、情報配信のモバイルキャストテレマティクス(東京)と音声や映像など情報を送受信する車載用小型サーバーを共同開発。盗難防止や緊急通報支援の各システムのリアルタイム配信などのサービスを予定。

23日(水)

●人事 社長に藤田専務が就任 京福電鉄

京福電気鉄道は、取締役会で新社長に藤田秀憲専務が昇格、石田榮一社長が取締役相談役に就任する人事を決めた。昨年6月の越前線の衝突事故をめぐりトップの経営責任を明確化したものとみられる。

●業績予想下方修正 第一工業製薬

第一工業製薬は、02年9月中旬期の連結業績予想を経常利益9000万円から1億3000万円、中間損益は4000万円の黒字から8000万円の赤字に修正した。社有地の賃貸収入で経常利益は改善、関係会社の「四日市合成」が同社から自己株を取得したため。

24日(木)

●原材料コスト削減で利益増 京写

京写の02年9月中旬決算は、単価の下落で売上高は微減したが、原材料調達コストの削減などで、連結で売上高42億4000万円、経常利益1億3100万円となった。

●中小企業の展示会を開催 異業種京都まつり

京都府内の中小企業の展示会「近畿ブロック技術・市場交流プラザ京都大会異業種京都まつり」が京都市中京区のホテルで開かれた。中小企業総合事業団などが毎年秋に開いているもので約80企業、団体が参加。

マニュアル通りの就職活動でいいんですか

「学割」始めました

学生さんなら月1000円!

ゲームソフト開発大手のトーセ(京都市下京区東洞院通四条下ル、齋藤茂社長)は海外のゲームソフトメーカーからのソフト開発の受託を拡大する。国内ではソフト販売が回復していない一方、米国や欧州でゲームソフトの販売が順調に伸びている。同社ではこれを受け、ロイヤリティ収入のもととなる開発案件を増やす方針。すでに米国で営業体制の構築を始めたほか、ソフト開発のラインを増やす構えだ。

海外営業力を強化へ トーセ ゲーム開発力も拡充

齋藤社長が22日に開かれた同社の決算説明会で明らかにした。トーセはこれまで、国内大手のゲームソフトメーカーから数多くのソフト開発受託を受けてきた。開発したソフト販売数に応じてロイヤリティ収入が得られる。しかし、今年6月以降にワールドカップ開催の影響で販売数が伸び悩み、ロイヤリティ収入が影響を受けたという。2002年8月期決算でロイヤリティ収入が前期比36.7%減の6億5000万円あまりになった。

また、国内でのゲームソフト販売数の伸びが鈍化している中、海外でのゲーム市場が好調なことを重視。「日本で売ったものから(ロイヤリティが)取れない。海外では取れるから対策を打つことにした」(齋藤社長)としている。

これまでにすでに、米大手ゲームソフトメーカーからインターネットを通じて1タイトルのソフト開発の受託を受けたという。このほか、海外の大手ゲームソフトメーカー数社から合計8タイトルの開発受託を打診されており、現在開発スケジュールなどを調整している。

また2003年中に、これまで休眠状態だった子会社のトーセ・ソフト



03年8月期決算の説明をするトーセの齋藤社長(22日、東京都中央区の大和証券SMBC国際会議場)

ウェア・オブ・アメリカ(米カリフォルニアアーヴィングゼルス市)を再開させることを決めている。同子会社では、まず2~3人の社員を配置し、ゲームソフトの企画などを行う。

トーセは現在、日本と中国の2拠点でソフト開発を進めている。海外からのソフト開発の受託が拡大すれば、今後「100名から200名ほどの開発要員が必要になる」。このため、日中それぞれの拠点で開発力を強化する。

日本では正社員を増やし、段階的にソフト開発の指導者を育てていく。2003年春には新たに13人の正社員

を受け入れる。また、開発の一部について外注が可能になるよう、外注先の発掘も進める。これまでに九州と山形の会社2社に資本参加した。

中国でも外注先の企業発掘を進め、さらに、上海と浙江省杭州市に設けている拠点で今後、2年間で開発要員を400名体制にする方針。

齋藤社長は「海外でトーセの名はまだほとんど知らない。しかし実績があることから(ソフト開発受注に向けて)感触はかなりよかったです。体制を早く強化し、受注増につなげたい」と話している。

売上、利益が過去最高 日東电工の9月中旬期

大阪10月24日(ブルームバーグ): 大手総合材料メーカーの日東电工が24日に発表した2002年9月中旬期連結決算は、純利益は前年同期比2.5倍の93億円だった。液晶や電子部品向け材料の販売が好調で、2000年度上期以来の過去最高を達成した。

中間期の連結売上高は前年同期比13%増の1888億円、営業利益は同2.5倍の179億円、経常利益は同2.3倍の175億円といずれも過去最高。

プラスチック管から液晶モニターへの代替が進み、主力の液晶関連材料の売上高が前年同期比40%増に拡大、業績拡大に寄与した。

セグメント別の営業利益は、家電や携帯電話などエレクトロニクスや電子部品関連など工業用材料が前年同期比3.2倍の54億円、半導体や液晶関連など電子材料が同2.9倍の98億円、医療関連やフッ素樹脂製品など機能材料が29%増の26億円だった。

大証で会見した竹本正道社長は「IT(情報技術)業界の在庫調整が進み、今年初めから6月半ばまでは需要が好調で、第1四半期はロケットスタートを切った。しかし、それ以降は低迷状態が続いている」と指摘。第1四半期の好調が上期業績を押し上げたが、下期以降は値下げ圧力など厳しい環境を見込んでいた。

同社では、マッスルプラン効果で2003年度に100億円の固定費削減を目指しているが、「これは達成可能」とした。

乗り捨て サービスを開始

京都パブリックカーシステム

電気自動車を使った車両共同利用の実証実験を行う京都パブリックカーシステム(運営: 最適化研究所、京都市中京区、藤森義弘社長)はこのほど、電気自動車の乗り捨てサービスを開始した。これまで、電気自動車を利用する場合、指定された返却先の車両基地に空き駐車場があることが条件となっていた。今回、駐車場が空いていなくても返却を可能にすることによって、会員の利用回数の増加を狙う。

このサービスの対象となるのは携帯電話の情報がある法人と個人の会員。11月29日までの祝祭日を除く平日がサービス実施期間となっている。サービス料金は1回当たり300円。

京都パブリックカーシステムは、京都市下京区の京都高度技術研究所と京都市中京区の京都商工会議所の2つの車両基地で共同利用プロジェクトを進めている。利用者はいずれかの車両基地に返却する必要があるため、行き先が限られていた。

今回の乗り捨てサービスでは、京都商工会議所の駐車場のほか御池地下駐車場、京都市公営四条駐車場の3ヶ所で乗り捨てを可能にした。

執着しないから、いい仕事ができる 株式会社空(くう) 代表取締役 北田秀司

「ブロードバンド市場は2003年春には、必ずブレイクする」そう話す北田秀司さん。今、最も熱く「人とブロードバンド」について語るキーマンの一人だ。

生まれは大阪府豊中市。関西学院大学卒業後、大手食品メーカーに入社した。そして4年後に転職を迎える。奥さんの実家から遊休地を利用したホテル事業に誘われたのだ。「将来のことなどいろいろ考えたけれど、結論は最初から決まっていた」。学生時代から起業家マインドのあった北田さんにとって、無視できる話ではなかった。まさに水を得た魚、とにかく一生懸命取り組んだ。

もともと趣味ではじめたパソコンが高じて、1988年に「空(くう)」を設立。当初はホテル事業の傍らインターネットソリューションを中心に教育・医療分野でのビジネスを開拓していた。東福寺管長の福島慶道老師の教え「自由な心で全てを受け入れ、ひとつに執着しない」から「空」という社名を名づけた。

そして、「高画質リアルタイム放送技術とブロードバンドの普及により、今まで不可能だったものを可能にし、人と社会の新しい可能性を強烈に予感したんですよ」。今年2002年5月、ブロードバンド事業に全精力を懸けようとホテル事業から全て退いた。「ホテルもお客様に喜んでいただける仕事です。『空』が今チャレンジしているインターネットブロードバンドソリューション事業は、もっと多くの、それこそ会つこともない人にまで喜んでいただける仕事、社会により大きな影響を与えると思うんです」と北田さんは話す。

最近、「自分が何をやつたら良いのかわからない」と言う



京都市中京区車屋町通竹屋町上ル砂金町403番地
田丸産業ビル3F
TEL: 075-254-2998
FAX: 075-254-2671
URL: http://www.freemind.co.jp/
Email: /post@freemind.co.jp

話をよく聞くが、「そんな時代だからこそ、勇気をもって自らの執着を解き放すことができたとき、本当の自分が見えてくる」。そして、そんな心が社会を大きく動かす原動力のひとつになるに違いない。

京福電鉄社長に 藤田氏

石田榮一氏は代表権のない取締役相談役

京福電気鉄道(京都市中京区壬生賀陽御所町)は23日、11月6日付けて社長の石田榮一氏が代表権のない取締役相談役に退き、後任社長に藤田秀憲専務が社長に昇格する人事を発表した。代表権を持った副社長の小島幸雄氏も代表権のない取締役に退く。

京福電鉄では、福井県の越前線で2000年12月と2001年6月に相次いで列車同士の正面衝突事故を起こしていた。このため、これまでに越前線を第三セクターの「えちぜん鉄道」として存続させることができている。22日には福井地裁が2度目の事故を起こした元運転士に有罪の判決下した。

同社では、今回の社長人事について「当社越前線のえちぜん鉄道への譲渡に一応のメドがたった。この事をうけ、体制を一新するために実施するものだ」と述べている。



ふじた・ひでのり
1944年生まれ。67年神戸大学法学部を卒業後、京阪電気鉄道へ入社。同社運輸部部長を経て、93年6月に京都バス専務取締役に就任。97年6月、京阪電気鉄道取締役へ。2001年6月から同社専務取締役。

京都人

「Kyotoise」(キヨートワーズ)は英語・仏語で「京都人」のこと。伝統を踏まえて未来を見つめる京都人の21世紀が始まった。「Kyotoiseプロジェクト」は、それぞれの分野で改革に取り組む新・京都人を発掘していく。

「デパ地下惣菜」の立役者 有限会社エスアールフードプロデュース 代表取締役 斎藤三映子

毎月10種類、1年間で120種類の色とりどりのお惣菜。フードコーディネーターの斎藤さんが開発したものだ。メニューだけでなく、カロリー、原価も計算されている。斎藤さんは、1995年の独立直後にわずか1ヶ月で通販用の冷凍惣菜を120種類開発した。

斎藤さんは大学の農学部で食品を専攻。卒業後は製薬会社の開発部門で勤務した。そこで開発の段取りなどを覚えたという。その後電気メーカーに転職。オペレーターとしてCADの操作などを身につけた。しかし「ここでの作業は覚えられるけれど、CADを使って何をするかの方が大事。興味のあった食品関係の仕事をしよう」と食品メーカーに転職した。

転職して斎藤さんは驚いた。工場で作られる惣菜の分量、価格などの情報はほとんど資

い。記録されているデータも職員が汗と垢にまみれた手書きでノートに書きついているだけで、全く原価計算などがされていない。「パソコンを入れてください」斎藤さんは上司に訴え、任せられることになった。

調理場では「じゃまだ」と扱われたが、何度も足を運びどううノートを開かせた。そして100~200種類のデータを完成。「10円安くして」と言われても、何をいくら減らすべきか分かるようにした。

6年後に転機がくる。大手食品メーカーとの共同開発。相手がサンプルとして出した商品に対し、斎藤さんは緊張しながら「これでは売れない」と意見を出す。「料理と惣菜は違う。惣菜は毎日食べるものだから、きれいとかわいいものよりも食べなれた飽きない味でないと受け入れられない」。それを聞いた大手メーカーは「思



京都市伏見区竹田段ノ川原町35 オノゴロビル4F
TEL 075-645-1510
FAX 075-645-1570
E-mail: jell.mieko@nifty.ne.jp

うようにやってもらつていい」と斎藤さんに任せた。「開発冥利につきますよね。一生懸命やりました」。開発した商品は5種類。業務用、レストラン、給食などに使われ、1年間で1億円の売り上げを出した。斎藤さんは一気に部長クラスに昇格。「秘書になるか」とも聞かれた。しかし独立。1年間は顧問をし、次の年から次々に仕事がくるようになる。

おせち料理のメニュー、通販の惣菜、惣菜店舗のプロデュース、町おこしの一環としての特産品づくり。常に明確なコンセプトを持って仕事を進めてきた。「売れるものは目先の変わったものじゃなく基礎がしっかりしていてどこか新しいもの。まだまだ京都発の惣菜を売り出していきたいです」。

取材協力・京都経営研究所

料として残されていな

下記のとおり『週刊京都経済』を 月 日より 部購読します。

お支払い方法／①月極 定価1,900円(税別)

②年間契約 定価21,000円(税別)

■お名前・会社名 _____

■(部署名・担当者名) _____

■ご住所 _____

■電話 _____ ■FAX _____

◆お申し込みは簡単です◆

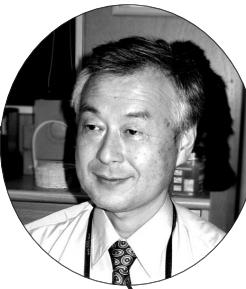
FAXで

この用紙を切り取り、送信してください。

075-315-8935

インターネットならもっと確実

<http://www.kyoto-keizai.co.jp/>



**京都情報化
支援事務所**
新 製品開発物語

「情報戦略担当を請け負うサービス」を9月に開始した。中小企業を対象に、「社外情報システム部」を引き受ける。IT技術者集団を抱え込むことができない中小企業の「救世主」を目指す。開発したのは京都情報化支援事務所所長の福竹康志さん(同左上)、宇土真一さん(同右下)、佐井章さん(写真左下)、鈴木覚さん(同右上)。

最適化につながらない企業がほとんどだ。

「会社の戦略に沿った情報システムを導入するには、企業とコンビを組み企業理念を理解して継続的に支援することが必要だ」。福竹さんはそう考えていた。

一方、佐井さんと鈴木さんはもともと企業内のシステム開発の技術者。独立してから福竹さんと出会っていた。福竹さんの誘いに応じて、プロジェクトに参加した。

こした。

課題はまだ残る。
まだ前例がないため、効果を理解してもらいにくい。「ITコーディネーターの仕事に近いけれども、それを組織としてやっている会社はない。まずは前例を作ること。このサービスで成長する企業があれば、それが1つのゴールです」と、4人は口々に言う。

信頼関係のある企業で、共に開発

情報戦略担当の 社外サービスを開始

中小企業では、企業内に情報システム部をおいていないことが多い。当然、システム開発は外注しなければならない。ウェブサイトや、データベースの構築もその1つだ。

ところが導入したシステムを使いこなせず、最悪の場合宝の持ち腐れになる例も少なくない。うまく使っても、ごく一部の効率化にとどまり、業務全体の

経営コンサルティングとは何か?
情報システム部の仕事は何か? それぞれが当然だと思っていることに食い違いが出てくる。それらを1つ1つずり合わせていった。やがてメンバーは自分たちのアイデアを理解し、明確にサービスの内容が見えてきた。

そして9月1日。「ITインテリジェンスサービス」として1つのパッケージが完成した。「あれもこれも機能のついたシステムの導入に高い費用をかけるよりも、経営戦略をふまえた開発をしたい」——。鈴木さんと佐井さんがずっと意識の底で考えていたことを、福竹さんは掘り起

をするために少しずつ営業に回ってプレゼンを続けている。「1人で考えると思い込みがあるので限界があるけれども、複数なら必ず気付くことがあるんです。ITコーディネーターの仕事を組織としてやっているのが強み」。

1人ずつプロジェクトのメンバーが増えたように、1社ずつ理解されるコンビが増えることを目指していく。

【開発データ】

- ・初期費用50万円、月額20万円(年間契約)。
- ・京都情報化支援事務所
京都市下京区中堂寺粟田町93
京都リサーチパークスタジオ棟
TEL 075-325-4314
FAX 075-325-4315
E-mail info@convj.jp
URL <http://www.convj.jp/>



米ゲームソフトメーカーが悲観的な販売見通し 任天堂

京都10月23日(ブルームバーグ):
任天堂が3日続落。ゲーム機およびゲームソフトの米国での年末の販売が市場の期待に届かないだろうとの見方

から、コナミ、セガなど他のゲームソフトメーカーも安い。米ゲームソフトメーカーTHQが22日、米国経済の低迷によるゲーム機販売の不振から、ゲームソフトの年末の販売が落ち込む

可能性を指摘したことも嫌気されているようだ。

任天堂株は一時、前日比6.4%安の1万160円まで下げ、午後1時17分現時は4.1%安の1万410円となっている。過去3日間での下落率は18%。コナミは170円(5.7%)安の2795円、セガは134円(8.4%)安の1466円、カプコンは130円(5.4%)安の

町家風店舗で狭隘地活性化

食品スーパー「フレスコ」運営のハートフレンド

食品スーパー「フレスコ」を運営するハートフレンド(京都市中京区西洞院四条上ル、井上弘治社長)はこのほど、上京区堀川通下立売に町家風の食品スーパー「フレスコ堀川店」を開設した。敷地面積200m²足らずという狭さを逆手にとるため、2階建ての良さをアピールしやすい町家風建築にした。同社は堀川店を狭い用地を生かす店舗のモデルケースとして位置づけており、品揃えや集客方法などのノウハウを蓄積していくことにしている。



110月8日にオープンした町家風スーパー「フレスコ堀川店」(10月23日京都市上京区)

利用者数が300万に KDDIの第3世代携帯

東京10月22日(ブルームバーグ):
移動体通信大手のKDDIと沖縄セルラーは22日、両社が提供している第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」の累計利用者数が19日に300万を突破したと発表した。両社は「CDMA2000 1x」に対応するau携帯電話を4月1日に発売したが、6月23日に100万、8月23日には200万を突破、開始から約7ヶ月で300万台を突破した。

「CDMA2000 1x」は最大144キロBPSの高速データ通信が可能で、現在のサービス地域は47都道府県。KDDIグループでは年末までに同サービスの全国の人口カバー率を90%に引き上げる計画。

の現在の株価は「制御不能となった電車のように」下げ続けていると述べ、「投資家は勝ち組と負け組の見極めに努めている」と指摘した。

THQは、第4四半期(10~12月)の業績がアナリストの予想を下回るとみている理由の1つとして、任天堂の家庭用ゲーム機「ゲームキューブ」や米マイクロソフトの「Xbox」の販売が期待を下回る可能性を挙げている。

京都府下の公共民間工事を満載
KCD
日刊建設タイムズ

株式会社 京都建設タイムズ 本社 〒601-8141 京都市南区上鳥羽卯ノ花72番地1
TEL (075) 662-1343 (代) FAX (075) 662-1392
E-mail : info@kyoto-kensetsutimes.co.jp

福知山支局 〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目56番地1
TEL (0773) 24-0675 (代) FAX (0773) 24-0676

<http://kyoto-kensetsutimes.jp.io>
<http://www.kyoto-kensetsutimes.co.jp>

KBS京都ラジオ連動企画
グローバルビジョン



第13回 堀場製作所 社長 堀場厚さん



社是は「おもしろおかしく」の意味を持つことを勧めている。社員に打ち込める趣味を持つことを勧めている。

■八条通りに面した本社ビルと堀場製作所と言う名前は知っている人も多いと思います。しかし、何をやっている会社かということを知ってる人は少ないと思います。何をしている会社なんですか?

「そうですね。確かに一般の人の目に触れやすい製品を作っているわけではないので何をしている会社か分かりにくいですね。いくつかの分野があるんですが、分析のための機械を作っている会社なんです」。

「例えば、皆さん自動車に乗りますよね。自動車はエンジンがないと走りません。エンジンを作るとときには、馬力や燃費も重要なテーマですが、排気ガスがどれほど出るのかといったことも調べます。その排気ガスを測定する装置で世界の8割のシェアを握っているのがウチの会社です」。

「だからこの分野のお客さんは日本の自動車メーカーからダイムラー・クライスラーやフォードといったところまであります。ウチの排気ガスの測定装置がなかったらベンツは作れないかもしれませんね(笑)」。

「ほかには、半導体を作るときに用いるガス制御機器があるのですが、この分野では世界の35%のシェアを握っています。また白血球の数を調べる機器なども作っています」。

■世界的な事業展開を進めていますね。

「堀場の拠点はアメリカやヨーロッパだけでなく東欧や北欧にも及んでいます。チェコやモスクワ、スウェーデンなんかにも拠点があるんです。主に自動車メーカーのある国で事業を展開しています。スウェーデンにはボルボがありますよね」。

■堀場製作所の米アリゾナにある拠点の近くにはゴルフ場があるとか。いいゴルフ場の近くに拠点を設ける

遊び心は大切だ

■そのような機器をどのように作って、どんなふうに販売しているんですか?

「実は自社でやる機器の製造は全体の20%程しかないんです。それ以外の80%はほかの会社にお願いして作ってもらっている。つまりアウトソーシングですね」。

「細かい部品なんかもよその会社で作ってもらうんですが、それはよそでもできる仕事なんです。全体の20%といふのは堀場製作所でしかできない仕事です。最終的な機器の組み立てなんかですね」。

「よそにできる人がいるならできる人に任す。自分では自分しかできないことをやる。そのためアウトソーシング

元祖学生ベンチャー——堀場製作所を語る際によく使われる言葉だ。同社の起源は、創業者の堀場雅夫会長が京大在学中に設立した研究所。pHメーターを皮切りに分析機器の製造を手がけ、専門メーカーとして世界中で知られている。しかし、実際のところどんなモノを作っている会社なのかを知る人は少ない。

自社でしか できないことをやる



父の存在は「正直に言ってプレッシャーにはなっていない」。自分の役回りは夢を具現化すること。

方針があるという噂は本当ですか?

「半分は本当に半分は違うというところでしょう(笑)。アリゾナの拠点では人工結晶を作っています。乾燥して一年を通して気候がいいため設置しました。もちろんとてもいいゴルフ場もあるんですよ」。

「事業上の利点を踏まえた上でゴルフ場が近い立地のところがあれば、ゴルフ場が無いところよりもあるところを選びますね。これは単純に遊びたいからというのではありません」。

「遊びは遊びなんですが、ビジネスをやっていても遊び心を大切にする事は重要だと思います。実は、当社の社是は『おもしろおかしく』というものです。社員にも常に仕事以外で自分が打ち込む趣味を持つように勧めています。そうすることで遊びにも仕事

ほりば・あつし

1948年京都生まれ。71年甲南大学理学部を卒業後、堀場製作所の海外販売子会社のオルソン・ホリバに入社。72年9月に堀場製作所へ。在職中にカリフォルニア大工学部を卒業、同大工学部大学院を修了。堀場製作所では海外畠を歩み、82年6月から取締役海外本部長。88年、専務取締役営業本部長に。92年から社長へ就任する。

にも打ち込めるようになると思う。ただアリゾナに行ってもゴルフができるときの方が多いですよ」。

■ところで、堀場製作所では分析機器を作っているということですが、分析するというのは具体的にどんなことなんでしょうか。

「例えれば、最近ではシックハウスの問題がよく挙がっていますね。シックハウスといつても、普通は、どんな物質が問題でその物質はどんな姿形をしてる

ングが全体の8割に上るんです」。

「販売面では自動車メーカーの場合は自社のセールスマネージャーが販売します。分析機器などの場合は特約店を設けて販売もらっている。製品や価格に沿って販売チャネルを分けているということですね」。

■やっぱり自動車メーカーは堀場製作所が無くなると困るんでしょうか?

「そうですね。そう思ってもらえるとありがたいですが、実際自動車メーカーは常にエンジンの開発をしています。近年は排気ガスに対する考え方方がどんどん厳しくなっています。エンジンの開発には必ずと言っていいほど排気ガスの分析と計測が必要になるんですね」。

す。当社が無くなるとメーカーさんは困るでしょうね」。

■堀場製作所は実のお父さんである堀場雅夫さんが創業されました。雅夫さんは元祖学生ベンチャーとしてとても有名な存在ですね。そんなお父さんの存在がプレッシャーになることはありますか。

「その質問はよく聞かれるんですよ。正直に言って、父の存在がプレッシャーになるとか、大変だと思ったことはありませんね。むしろ父がいてよかったです」。

「父の雅夫は、本当に頭のやわらかい人なんですね。常に夢を語るようなね。私は自分自身の役回りとか立場を父の夢を具現化していくことだと思っています」。

「私達の会社の仕事は、非常にニッチな市場です。それだけに世界的な展開をしないといけない。そう言う環境の中で父は常にいろんなアイデアを出して私を実際にやっていく。私は父とは違うフィールドで活躍することもできます。父は、会社のスポーツマンとしてとても必要な人だと思います。お互いにカバーしあっているんでしょうね」。

■厚さんは、92年に雅夫さんから社長をバトンタッチされました。何か変わったことはありますか。

「昔はやはり開発が会社全体の中心だったという面が多かったと思います。開発でないと人ではないというような(笑)。現在は、世界的な競争に勝つためにスピードを上げています。問題点を抽出し、即座に解決に向けた行動を起こす。業務時間内に『集中タイム』を作ったんです」。

「例えば開発の人が業務を進めながらほかの部署や取引先から電話がかかってきます。そうすると一時的に思考が止まります。『集中タイム』では、開発なら開発の事しかやらない。電話がかかるときも出ない。そうすれば、生産性を倍にするのは簡単です。生産性の向上というのは労働の分量とは違うんですね」。

■今後はどんな事業展開を考えていますか。

「現在、堀場製作所では6つの事業領域を決めて事業を進めています。医療の分野でも機器の製造・販売にちからを入れていきます。今年6月にはアリゾナの工場で大型の結晶を製造することにメドをつけました。初期のがんを見つけだすことに応用できるほか、原子力や宇宙などの分野でも需要が期待できます」。

「地球の温暖化がクローズアップされている現状から炭酸ガスの分析・計測機器といった環境関連事業も期待の大きい領域ですね」。

「そういった事業領域にすすんで会社が成長していくためには、ポテンシャルのある人材を採用していく必要があります。『おもしろおかしく』常にチャレンジングであれ、ということです。チャレンジをすれば失敗するかもしれない。でも同じ失敗を2度としないように次のチャレンジを続けていく会社にしていきたいですね」。

ビジネス情報

■創造法認定企業ステップアップセミナー・オープンセミナー

【主催】京都府中小企業総合センター、京都産業21
 【日時】11月14日15:00~18:00
 (18:00から交流会あり)
 【場所】京都リサーチパーク1号館4階AV会議室
 【内容】府内の創造法認定企業の飛躍を支援するため、創造法認定企業を対象とした全4回のセミナー。第1回目の本セミナーはオープン型式とし、認定企業以外にも広く参加者を募集。テーマは「失敗の研究」。【講師】吉田史朗(S&Gビジネスディレクション代表取締役社長)「失敗ベンチャーの事例研究」/田中寿雄(元・オムロン

■バーチャル・カンパニートレード・フェア

【主催】京都市、財團法人京都高度技術研究所、株式会社京都ソフトアドバイス
 【協力】京都リサーチパーク株式会社
 【日時】2002年11月8日(金)9:00~15:30
 【場所】京都リサーチパーク西地区4号館地下1階「バズホール」
 【内容】トレード・フェアは、仮想企業経営プログラム「バーチャル・カンパニー」に参加している生徒達が実際に商品を販売する見本市です。「バーチャル・カンパニー」は、地元企業の支援のもと、販売する商品を決め、広報ツールを作成し、他の参加校と販売活動を行なながら、企業運営や電子商取引を体験する、国際ビジネスのシミュレーションプログラムです。

今回で2回目を迎えるこの見本市では、通常オンライン上で取引している生徒達が京都に集まり、対面販売を体験すると同時に、事業内容やセールスプロモーションの優劣を競い合います。

<プログラム>

■9:00-9:15 <開会式>

■9:15-15:00 <商品販売活動>

各バーチャル・カンパニーが展示ブースで営業活動・商品販売を行います。※この間審査員複数名が生徒の営業活動を観察し、プレゼンテーションや売上ランキングなどとあわせて総合的に評価します。

■10:30-11:40 <プロモーションプレゼン>

各バーチャル・カンパニーが会社の概要や商品、ビジネス展開などをプレゼンします。

■15:00-15:30 <売上ランキング発表> <閉会式>

審査員が優秀なバーチャル・カンパニーを発表します。

■参加費】無料

【問い合わせ】会社京都ソフトアドバイス

担当: 平岡

TEL: 075-315-9103

FAX: 075-315-9134

<http://www.entreplanet.org/vc/>

E-mail: info@entreplanet.org
京都市下京区中堂寺南町134番地
京都高度技術研究所7F

フィールドエンジニアリング代表取締役副社長)「されど失敗は成功の母~世界初自動改札機の開発~」

■定員】100名(先着順)

■参加費】無料(交流会は3000円)

【申込み】企業名、参加者の職・氏名、会社住所、E-mail、電話番号、FAX番号、交流会参加希望の有無を明記の上、E-mailおよびFAXで申込み

■問い合わせ】京都府中小企業総合セ

ンター産業支援部 産業振興課新産業推進係(担当: 小林)
TEL: 075-315-8622

FAX: 075-315-9497

E-mail: kobayashi.motokuni@mtc.pref.kyoto.jp
<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/news/2002/shinko14l023.htm>

健康を考える商品群を開発 フコール

フコールウェルネス事

業部は、健康を主軸としたライフスタイルを提案する商品群「nul(ヌル)」を

2003年2月から発売する。日常生活のなかで手軽に健康的な美しくすごせるための提案型ブランドとして開発。新しい商品の開発とともに、既存の商品の再編集も行い、「ALL DAY WELLNESS」のコンセプトを明確にした。

商品は①姿勢改善商品群 ②肌への刺激をおさえる素材特性商品群 ③脚

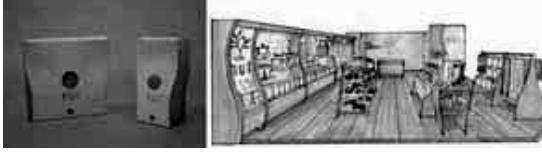
の筋肉に適度な刺激を与える商品群 ④テーピングにより筋肉をサポートする商品群をそれぞれ販売する。

プロジェクトとして開発。

新しい商品の開発とともに、既存の商品

の再編集も行い、「ALL DAY WELLNESS」のコンセプトを明確にした。

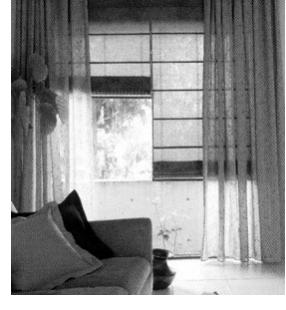
商品は①姿勢改善商品群 ②肌への刺激をおさえる素材特性商品群 ③脚



カーテンの新ブランド発売 川島織物

川島織物は28日、カーテンの新ブランド「asse celyst」(アッセセリスト)シリーズを発売する。布を見本帳の中から選ぶのではなく、50種類のバリエーションから自分の好みのデザインとプリント位置を選び布地自体を生産するオーダーシステムをとっている。また50m以上を注文する場合は、霜降り状の色彩、パイル調のストライプの2種類を使って好きな色を作ることができる。

同社では、都心部を中心にカーテンのオーダーシステムをとってきた。衣・食だけでなく住生活にも関心が高まり、個性的なインテリアを好む人が増えたのに伴って住生活全般への提案を続け



■近畿地方公設試テクノリサーチコンファレンス02

■主催】近畿地域産業技術連携推進会議

【日時】11月8日13:00~17:00

【場所】ドーンセンター 大会議室(大阪市中央区大手前1-3-49、TEL: 06-6910-8500)

【内容】近畿経済産業局が実施している「技術シーズ発表会」の一環として開催。発表分野は「環境技術分野」「材料・加工分野」の2分野。発表会後、希望により個別の相談会も開催。

【定員】各100名(定員になり次第締切り)

■参加費】無料

【申込み】11月1日までに、希望会場、氏名、所属、連絡先(住所、電話、FAX、E-mailアドレス)を明記し、大阪府立産業技術総合研究所にFAX(0725-51-2513)で申込み(個別相談

を希望の場合は、相談希望テーマ、相談内容についても明記)

【問い合わせ】近畿経済産業局 産学官連携推進室(担当: 前田)

TEL: 06-6966-6016

E-mail: maeda-hirofumi@meti.go.jp

URL: <http://www.kansai.meti.go.jp/5giki/conference.htm>

「WEBユーザビリティの実践」がテーマ。【講師】小林郁央(オーバルプラン)「WEBユーザビリティの開発事例(仮題)」/篠原稔和(ソシオメディア)「WEBユーザビリティの現状と課題」/長谷川敦士(コンセント)「WEBユーザビリティにおける情報アーキテクチャ」

■Autumn Seminar 「WEBユーザビリティ関西」

■主催】ヒューマンインタフェース学会

【日時】11月15日10:00~17:30

【場所】キャンパスプラザ京都第3講義室(京都市下京区西洞院通塩小路下ル、TEL: 075-353-9111)

【内容】情報処理機器におけるユーザビリティ(使いやすさ)向上にかかせない、ユーザ中心設計のコンセプトの理解と実践のためのセミナー。今回は

【定員】100名(先着順)
 【参加費】正会員12000円、賛助会員15000円、一般非会員18000円、学生会員6000円/学生非会員8000円

■問い合わせ

TEL: ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地

京都リサーチパーク6号館 304号室

TEL: 075-315-8475/075-326-1331

FAX: 075-326-1332

E-mail: seminar@his.gr.jp

URL: <http://www.his.gr.jp/>

京都株式値動き 10月24日

	終値	高値	安値	売買高	前週終値	前週比
1790 △2 平和奥田	216	220	216	4,000	213	3
1897 △2 金下建	392	394	392	4,000	397	▲5
2219 △タカラブネ	57	59	56	38,000	62	▲5
2531 ●宝HD	616	633	611	733,000	634	▲18
3002 ●グンゼ	480	495	478	553,000	481	▲1
3009 ●川島織	98	99	95	31,000	98	0
3521 ●日レース	63	64	54	1,563,000	52	11
3551 ●ダイニック	79	79	75	25,000	77	2
3570 △2 オリカ	141	151	141	41,000	161	▲20
3572 △2 大同染	38	39	37	13,000	46	▲8
3591 ●ワコール	1,025	1,032	1,025	71,000	1,023	2
3600 △2 フジツクス	350	350	350	1,000	360	▲10
4406 △日理化	348	349	340	38,000	353	▲5
4461 ●一工薬	183	185	183	7,000	192	▲9
4471 ●三洋化	786	792	776	34,000	816	▲30
4516 △日新薬	539	554	538	78,000	555	▲16
4671 △2 ファルコ	1,490	1,540	1,480	13,200	1,454	36
4696 △2 ワタベ	1,490	1,510	1,490	6,300	1,470	20
4728 ●ト一ゼ	941	961	940	9,600	1,050	▲109
4735 △2 京進	449	449	449	2,000	449	0
4962 ◆亘堺化	600	600	600	1,000	620	▲20
5928 △2 アルメタクス	118	118	117	1,500	121	▲3
5955 △2 ヤマシナ	48	51	47	820,000	53	▲5
5957 ●日東精	162	162	156	8,000	162	0
5966 △2 KTC	280	280	280	145,000	288	▲8
5985 △2 サンコール	301	302	301	6,000	301	0
6216 △2 寿工業	22	24	22	10,000	23	▲1
6315 △2 TOWA	741	758	712	24,300	753	▲12
6398 △2 電産シンボ	407	407	407	1,000	414	▲7
6482 △2 コーシング機	1,800	1,890	1,780	30,400	1,819	▲19
6594 ●日電産	6,540	6,570	6,350	174,100	6,090	450
6641 ●日新電	140	142	139	27,000	148	▲8
6645 △オムロン	1,407	1,438	1,401	168,000	1,48	

「島津」とは何か

第2回

■基礎研究が好きな会社

「島津時代の経験が今の自分の起業に役に立っている」と話すのは、分析機器部品の研究開発を手がける京都モノテックの水口博義社長。95年に島津製作所を退社して独立した。

水口氏は島津時代に田中耕一氏とも机をならべていた研究者。京都大学院で社会人学生をしているときに、手がけている分析部品の事業から島津が撤退することを決めた。「技術の革新性に可能性を感じていた」と起業を決意したのだった。

島津製作所は基礎研究を大事にする社風として知られる。水口氏も「本当に基礎研究が好きな会社。新しいこと、チャレンジングなことを奨励する雰囲気に満ちていた」と古巣を評する。

■源蔵のEVカーを作りたい

「本社に島津源蔵(2代目)が作ったという日本最初の電気自動車がある。入社当時からこれを再現してみたいたと思っていたんですよ」。藤井啓之助社長は、こう起業の動機を切り出した。

藤井氏は高校を卒業後日本電池に入社。96年に退社するまで電池の設計・

島津製作所の歴史はベンチャーの歴史でもある。本体で新事業を手がけてきたほか、創業当初から日本電池やニチユといった企業を輩出してきた。そして現在、ベンチャービジネスの苗床としての役割を見せはじめている。



則内健司・インタクト社長

進取の気風、ベンチャー輩出

技術者の苗床、地域に浸透

開発畑をずっと歩んだ。50代になって病に倒れ、車椅子生活を経験する。それが転機になった。



藤井啓乃介・EV メルテック社長

「電動車椅子が必要だ」。入社当時の夢とかさなり、イーブイマルテックを創業した。現在、電動車椅子

を開発するほか、車椅子のまま乗り込むことができる電気自動車を開発する。

藤井氏の夢はガソリン車に取って代わる「高齢者が使いやすい移動手段」を創り出すことだ。



「島津時代の経験が今の起業に役立っている」と話す水口博義・京都モノテック社長。

島津製作所が発祥の主な企業

会社名	設立の経緒	創業年	事業内容	現在の本社所在地
日本電池	2代目島津源蔵が日本で初めて蓄電池製造に成功。島津源蔵のイニシャル(Genzo Shimadzu)をとってGSの商標を使い、1917年1月に会社を設立した	1895年	自動車向け鉛蓄電池の製造販売。	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町
ニチユ	1919年に日本電池が自動車用電池の製造を開始。電池を用いた輸送機器の開発製造のため1937年日本輸送機製作所が設立される。	1937年	バッテリー・フォークリフトの製造販売。	京都府長岡京市東神足
大日本塗料	鉛蓄電池を製造する技術から鉛の粉を使った塗料を開発。1929年、日本電池から分離独立して鉛粉塗料株式会社(現在の大日本塗料)が設立された。	1929年	自動車や船舶向け塗料の製造販売。	大阪市此花区西九条
京都科学	1948年に島津製作所の標本部を継承。京都科学標本株式会社設立した。設立当初は資本金20万円。初代社長には島津良蔵が就任した。	1948年	人体模型など理科教材の製造販売。	京都市伏見区下鳥羽渡瀬町
七彩	1946年7月に島津製作所島津マネキンの創始者島津良蔵が参画して造型作家の向井良吉を中心に京都島津邸跡に七彩工芸を創業した。	1946年7月	マネキン・人形・ボディの製造販売	京都市右京区山ノ内池尻町

■初期需要を提供

島津製作所がもっと得意とする分析に「液体クロマトグラフィー」という技術がある。通称「液クロ」。この液クロにはカラムという部品が欠かせない。カラムの精度とスピードが分析コストを大きく左右する。そのカラムの研究開発会社、インタクトの則内健司社長は、「京都には分析技術の蓄積がある」と話す。

古く島津製作所に起源を発する分析・計測技術を手がける京都企業は少なくない。環境計測機器製造の堀場製作所もその一角に挙げられる。

則内氏自身は、独立の精密加工企業の経営者一族出身。島津製作所とは直接関係ないが、同社の製品は島津の分析機器に使われる。

起業は起業家だけでできるものではない。なによりも創業当初の需要が最大のポイント。島津は、無名の会社に需要を供給する役目をも果たしている。

検証 京都経済と島津製作所 官主導で進んだ産業化

京都の産業化、そして島津製作所の原点となったのが「京都倉密局(せいみきょく)」だった。

「せいみ」とはオランダ語の「chemie」(セミー)を音訳した表現。日本最初の理化学専門学校として明治2年(1868年)、つまり明治維新から最初の一年目に大阪に開校した学校「倉密局」がその発祥。同局は明治5年に廃止されるが、その流れをくむ組織として明治6年、大阪倉密局の助手であった明石博高によって京都倉密局が開設された。

大阪倉密局の学校部門はその後も名前を変えながら存続し、明治19年に第三高等中学校になる。さらに同22年に京都市吉田に移って現在の京都大学になっていく。

京都倉密局が置かれた鴨川河畔は、現在ホテルフジタ

になっている。初代島津源蔵が住み、島津製作所創業の地となった島津創業記念資料館とは、徒歩で1-2分の距離。

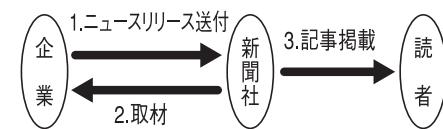
島津源蔵宅の裏には府営織工場、高瀬川一之舟入を挟んで南側には府勧業場が設けられた。官主導で進められた京都の産業化のまさにど真ん中で、島津源蔵が創業したことがわかる。



京都産業化の原点だった河原町二条界隈
(明治初期の地図から作製)

ニュースリリースって何だ?!

企業側から、知ってもらいたい情報(例えは新製品発売やイベント開催)を、新聞などのメディアに簡潔に伝える資料です。新聞社はニュースリリースをもとに、その企業を取り材し、記事として取り上げます。



記事掲載は?

お送りいただいた情報の取材・掲載判断は、本紙編集部が責任を持っています。また、公序良俗に反する内容の掲載はお断りします。

京都経済新聞社編集部

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1 京都リサーチパーク
TEL075-316-1000 FAX075-315-8935
info@kyoto-keizai.co.jp http://www.kyoto-keizai.co.jp/

報道FAX



貴社名
部署名
ご担当者
ご住所
TEL
FAX

京都経済新聞社行 075-315-8935

にチェックしてください

新製品・新サービス 新規事業

業務提携 資本移動

人事異動(□役員 幹部 現場責任者)

計報 その他

発表テーマ

発表内容 (入りきらない場合は自由に用紙をご追加ください)

いつ? _____

だれが? _____

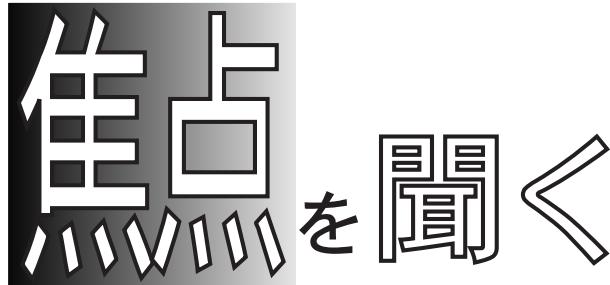
どこで? _____

何を? _____

それはなぜ? _____

今後どうなる? _____

月曜インタビュー



京都市上京区の堀川下立売に町家風の外観でスーパー「フレスコ」がお目見えした。チラシを一切まかず、品揃えと価格で集客していくという。スーパーにつきもののチラシをやめたのはなぜか。どんな経営戦略を取っているのか。運営するハートフレンド常務の片山秀樹さんに聞いた。(聞き手は田畠一彦)

■フレスコはどういういきさつで事業を始めたのですか。

「フレスコの始まりは、1987年に山科区にあった勧修公設小売市場が廃止されることが決まったのがきっかけです。その公設市場の組合員だった魚屋さんや八百屋さんが集まって会社化したのが始まりなんです。当時の資本金は350万円でした。小売の商店主が集まって始めましたから、経営者意識が最初から高い会社だと思う。」

「1992年に第1号店である『フレスコ勧修店』をオープンした。京都市内を中心に宇治市などに店舗を開いて、現在は16店舗になりました。2002年度2月期の業績は、売上高105億円、経常利益は3億円ぐらいです。」

「私たちがとくに優れているとは思わないんですが、順調に売上が伸びていますね。特に生鮮にこだわったのがよかったのかもしれません。もともと商店主の集まりでしたから、生鮮はそれぞれに専門家がいるんです。」

■町家の外観を持たせた堀川店を堀川下立売交差点の角にオープンさせましたね。

「堀川店は10月8日にオープンしました。今のところ、お客様は1日2500人くらい来られています。1日の売上は平均して285万円ぐらい。まずまずといったところです。本当は1日に3000人ぐらい来て欲しいところです。」

「店のデザインは最初、洋風という案もあったが、最終的に立地場所などを考えた結果、町屋風に決定した。堀川店の外見は、大きなCM効果があつ

たと思います。堀川通りを行き来する人や車の目につきやすいと思います。でも、結局スーパーは内容が充実していないとダメだと思っています。」

■内容の充実という面で商品はどんな戦略でそろえていますか。↑



かたやま・ひでき

1956年京都府船井郡生まれ。高校卒業後、フレスコの母体である勧修公設小売市場内の八百屋で修行。25歳の時に経営を引き継ぐ。1987年からフレスコの立ち上げにかかわり、2000年にハートフレンド常務取締役に就任。現在、全店舗の営業管理の責任者を務める。

「フレスコのモットーはエブリディローブライスです。スーパーは毎日お客様に来て頂くという考え方方に立脚しています。」

「スーパーでは当たり前のようになっているその日の特売商品というものを実はフレスコでは設定していないのです。ただし、店ごとにマグロの解体実演やイベント性の高い催しは店長の裁量権でやることはあります。」

「特売をしないということはやはり、お客様に毎日、あるいはいつも利用してもらいたいからです。その限り

である商品を特売にすると、その日はお客様がくるかも知れないけど、次の日は分かりません。」

「スーパーは日用品を買ってもらうところですから、値段はいつも安定していた方がいいと思うんです。安定しつつ特売をしない分、商品全体で価格を下げることができます。」

「たとえばフレスコで売っているパンはいつ来ても定価の2割引です。特売の日に3割引や4割引というものは一見おトクですが、長い目で見ると1回あたりの割引率が低くても常に一定の割引

をする方がお客様から見ると本当におトクになる。」

■堀川店は2階建て店舗です。スーパーには珍しいですね。ほかのフレスコの店舗はそれほど広くないところもありますね。」

「堀川店は、約60坪の元駐車場でした。スーパー経営においては、1フロア120坪から150坪はないと、お客様が満足するアイテム数を揃えることができないと言われています。」

チラシはもういらない

総合食品スーパー「フレスコ」を経営するハートフレンド常務 片山秀樹さん

「だいたい全部で1万5000から1万6000点の商品を置く必要があります。今はお客様のニーズが非常に多様化していますから、例えばぼん酢にしても10種類は揃えておく必要がある。動かすことがなくとも置いておかないといけないものもあります。」

「ですから堀川店の場合、1層だと面積が足りない。2層構造にして床面積を120坪にしました。問題はどうお客様に店内をくまなく見ていただけるかということでした。」

「私たちはメインである野菜や肉などの生鮮食品を2階にもっていくことで、お客様に回遊していただくようにしました。」

「でも、本当にこの店づくりがお客様にとって良いものなのか、油断はできない。堀川店は、狭い土地での店舗運営のモデルケースにもなると考えています。」

■チラシをまくのを辞めたと聞きました。なぜチラシをまかないのですか?

「チラシは通常、1回で1万枚以上配布して、コストは1枚あたり6円から7円程度。このコストは結局、商品の価格に上乗せされる。年間数千万円のコストがかかる。毎日安いものを買って欲しいと思って辞めました。もちろん

辞めたときは不安でしたけどね。」

「チラシの新聞折り込みは、去年の2月から廃止したんですよ。チラシの経費がなくなった分、パンを2割引にしたりと、定番商品をいつでも安く提供しようとしています。毎日同じ価格にすると、レジの設定やディスプレイなど作業上楽な点も多いんでコストを下げることができます。」

「特売品は昼過ぎにはなくなる。実際は、お客様は夕方に多いです。『朝損して夕方儲ける』のをやめて、夕方のお客様にも公正なサービスをしたかった。」

■市内にはチェーン展開するスーパーがいくつかあります。

「ほかのスーパーさんで気になる存在は大国屋さんですね。独自のカラーを確立していますし、商品のグレードや品揃えもいいと思います。」

「最近よく考えるのは、フレスコのカラーをどう作るかということです。私としてはこだわりの厳選商品を揃えるという方向よりも、『毎日の食材』を売っているという、お客様の冷蔵庫のような存在になっていきたいですね。日曜日に行く店というよりも、ウィークリーに来ていただけるような店づくりを目指しています。」

Q&A

■なぜ「週刊京都経済」には広告が載っていないのですか?

スリムな新聞社経営を追求しているからです。自由度の高い報道をするためにはスリムな経営体質が欠かせませんが、広告に依存する体質になると、組織がどうしても肥大化しがちです。広告営業、制作・製作などに多大な負担がかかるからです。

広告を全く拒むわけではありませんが、こちらから積極的な営業活動は行いません。

つまり本紙の経営は読者の皆さんの購読料を基盤にして成り立っています。本紙は読者のための新聞なのです。

■「週刊京都経済」の読者は誰ですか?

本紙は全て読者のご自宅や職場に直接お届けする直売制ですので、どなたに読んでいただいているかを正確に把握しています。これは一般紙など広告に依存する大部数紙と根本的に異なる点です。

京都経済新聞社についてよく聞かれる質問にお答えします。

読者の属性は極めて多岐にわたりますが、経営者、管理職、行政の幹部職員、起業を志す学生さんなどが個人で購読される例が多いようです。引き続き、読者ニーズに耳を澄ませ、新しい視点をお届けしていきます。

■「週刊京都経済」はどこで買えますか?

直売制ですので、一般新聞店や売店などではお買い求めいただけません。本社ホームページより購読をお申し込み下さい。ご希望の方には見本紙をお届けします。

■編集長はなんのために京都経済新聞社を創ったのですか?

世界第二位の経済規模を持つこの国で、1億2700万人の国民が皆同じ内容の新聞を読んでいることは問題だと考えるからです。これからは多様性こそが価値の時代。読者に対して「選択肢」を提供し続けたいと思います。

■「他紙とどう違うの? 何が書いてあるの?」

多面的な京都経済を常に“人”にフォーカスすることで報道していくとしています。京都人のネットワークが見える報道を目指します。

■編集長の経歴は?

京都の大学で工学を学んだ後、大手経済紙で記者12年。東京中心の仕組みの実態と弊害を目の当たりにしてきました。京都に根ざした誰にでもわかる経済報道を心がけています。

■「中堂寺村」とは?

「中堂寺村」には起業を志す人が集まり、数々のベンチャー企業が生まれています。京都経済新聞社もここで情報を集積して発信しています。

■「今までの記事の検索はできる?」

今の所そのようなシステムはありませんが、一面トップ、座標軸、月曜インタビューの過去記事はホームページ上で見られます。まとめて読んでもかなり読み応えがあると思います。ぜひ見て下さい。<http://www.kyoto-keizai.co.jp>

本紙編集局へのお問い合わせ、情報提供は
info@kyoto-keizai.co.jp
FAX 075-315-8935まで